


# 令和4年度に開講した講座が DVDで貸出可能となりました。

2023年4月3日(月)から随時，申込を受付ます。

県立広島大学 公開講座

「持続可能な開発目標(SDGs)」には，県立広島大学の研究･教育･活動と強い関りをもつ目標があり，その達成に向けて様々な取り組みを進めています。

今回の講座では，本学が研究対象とする各目標について，具体的な研究内容を講義します。

この講座を通して，SDGsの取組みに1人1人が理解を深める機会になることを目的とします。

貸出コンテンツおよび申し込み方法については裏面以降を参照ください。

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

# 貸出コンテンツ一覧




1

目標１【貧困】
保健福祉学科　志賀 信夫 先生
　現在，主な貧困対策として経済的な支援が行われている。果たしてそれで十分だろうか？当講座では，自由と権利の重要性を踏まえ，①貧困とは何か，②貧困対策はどんなものであるべきか，この２点から課題を分析する。




2

目標２【飢餓】
地域創生学科　谷本 昌太 先生
　アジア，南アフリカの開発途上国を中心として，飢餓は世界規模での問題となっている。当講座では，食糧自給率，栄養素など目標２と強く関連するワード，そして実態について知ることで，飢餓への理解を深める。




3

目標３【保健】
保健福祉学科　黒田 寿美恵 先生
　がんの治療では，生活の中に治療を取り入れていく必要がある。そこで，がん看護において重要となるセルフケアの促進，看護師の連携など，過去に行われた講師の研究に基づいて患者への質の高い支援を検討する。




4

目標４【教育】
地域創生学科　植村 広美 先生
　教育の問題は，発展途上国だけでなく先進国にも未だ多く残っている。教育を受けられる環境の確保，そして教育の質の向上のため，日本や諸外国の現状を比較しながら，目標４達成に向けた課題や実際の支援を取り上げる。




5

目標５【ジェンダー】
地域資源開発学科　村田 和賀代 先生
　ジェンダー平等の達成は他の目標の達成にも重要であり，また個人の意識から政策まで，様々な要因の合わさった課題を抱えている。当講座では，目標５の各ターゲットに沿い，解決に向けて何ができるかを考える。




6

目標６【水･衛生】
生命環境学科　西村 和之 先生
　水は私たちが生きるために欠かせないものである。水資源の豊かな日本でさえ，世界的な水不足の影響は無関係ではない。そこで，日本の水問題に加え，世界の水問題とその解決に向けた持続可能な支援を学ぶ。




7

目標７【エネルギー】
生命環境学科　小林 謙介 先生
　日本国内のエネルギー消費量は年々増加しており，省エネ・省CO2化が急がれている。当講座では，環境負荷の評価やデータベースの活用など，講師の研究内容をもとにエネルギー消費量の削減に向けた取り組みを提案する。




8

目標８【経済成長と雇用】
保健福祉学科　金子 努 先生
　低賃金労働に失業，児童労働など，働くことに関する問題は世界中に数多く存在する。これらを解決するべく，人としての権利を保証された「ディーセントワーク」の実現・普及を目指して社会のあり方を見つめ直す。




9

目標９【ｲﾝﾌﾗ･産業化･ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ】
地域創生学科　陳 春祥 先生
　産業化や技術革新を推進するために，強靭なインフラの構築が望まれている。そこで，講師の研究分野の中でもSDGsに関連のある内容に触れると共に，目標９達成に向けたICTなど新技術を用いた取り組みを紹介する。




10

目標１０【不平等】
経営管理研究科　吉川 成美 先生
　不平等を正すための議論は，環境との共生を前提としたものとなりつつある。環境の保護と経済発展の両立を目的に据え，エコロジカル・エシックス（環境倫理）の視点から多様性の保全，そして持続可能な発展を学ぶ。




11

目標１１【住み続けられるまちづくりを】
保健福祉学科　吉田 倫子 先生
　日本は現在，空き家の増加に加え，住宅を確保できない「住宅困窮者」の増加という矛盾した問題を抱えている。これらの問題と原因を分析し，誰もが住み続けられるまちづくりのための居住支援を当講座にて扱う。




12

目標１２【持続可能な消費と生産】
地域創生学科　矢澤 利弘 先生
　近年まで世界中で行われてきた大量生産・大量消費に代わり，資源を効率的に利用・消費する「循環経済」が推し進められている。これを踏まえ，目標12における８つのターゲットと実際の取り組みを解説する。




13

目標１３【気候変動】
生命環境学科　米村 正一郎 先生
　気候変動，特に地球温暖化への対応は地球全体の問題であり，解明のために研究が続けられている。当講座では，地球温暖化の現状や具体的な対策を説明し，CO2削減についてはエネルギー転換に焦点を当てて論じる。




14

目標１４【海洋資源】
生命環境学科　内藤 佳奈子 先生
　水中の生態系は，原点となる植物プランクトンに支えられていると言っても過言ではない。そこで，瀬戸内海沿岸の植物プランクトンと微量元素の関係に注目した講師の研究から，水域保全の視点で環境改善を考える。




15

目標１５【陸上資源】
生命環境学科　青柳 充 先生
　陸の豊かさを扱う目標15は，森林の維持，砂漠化への対処，そして生物多様性の損失防止から構成されている。中でも森林について植物資源を化学的な面から捉えた研究より，炭素資源としての木材の循環方法を提案する。




16

目標１６【平和】
大学教育実践センター　岡田 高嘉 先生
　世界の各地で戦争や紛争が起こり，多くの人々が命を落としている。これに伴って難民や子ども兵士，不正な政治など様々な問題が生まれている。各問題について日本国内外を比較し，平和で公正な制度作りを検討する。




17

目標１７【実施手段】
経営管理研究科　江戸 克栄 先生
　目標17は，他の16目標を達成するために示された，いわばSDGsの総合的な目標である。ここでは資金と貿易の視点から本目標のターゲットを解説し，個人から国家まで幅広い援助，あるいは協力の仕方を学ぶ。




その他の県大公開講座の情報は
下のQRコードからホームページに
飛んでみてね！